



カートモ®UP PRO

ークラウド、ビッグデータ処理による新しいクルマの情報サービスを見すえた最新デバイス

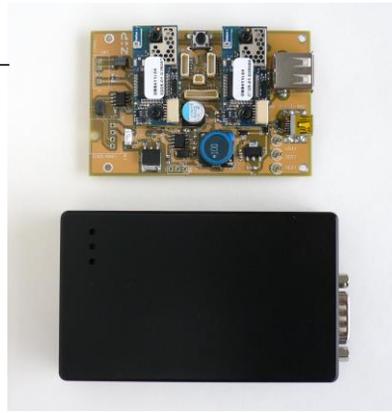
<https://www.zmp.co.jp/products/sensor/imu-gps-can/cartomo-up>

クルマに搭載されている診断用コネクタOBDIIを利用して、車載ECUの情報(OBDII情報および流れるすべてのCAN情報)をCANバスから取得すると同時に、ユーザが車両や運転者に取り付けた任意のセンサ情報を別のCANバスから取得することができます。

また、本体内に最新のMEMS6軸センサ(3軸加速度センサ+3軸ジャイロセンサ)も搭載しており、車両の挙動を合わせて取得することも可能です。

2チャンネルのCANバスネットワークを流れるデータを同期し、タイムスタンプを付加し、2つのBluetoothモジュールによってリアルタイムに転送します。

パソコン、車載データロガーなどを介して保存することが可能な、来るべきクルマのクラウド時代、ビッグデータ処理による新しいクルマの情報サービスを見すえた最新デバイスです。また、付属のPCアプリケーションにより、フィルタリング・ロギング・追加アプリの開発も可能です。



カートモ®UPPRO

機能

- **すべての車載CAN情報を有線、または無線(*)でPCへ送信**
 - OBDIIコネクタを利用して、車載CANバスに流れるすべてのCAN情報を取得し、無線(Bluetooth2チャンネル)または有線(USB)でPCへ送信(OBDII情報はCAN情報(16進)として送信可能)
 - (*)無線(Bluetooth)の場合、転送量に制限があります。
- **車載CANバス+外付けCANバスの2チャンネルを同期取得**
 - 上記車載CANバスと、任意のセンサ等を取り付けた外付けCANバス、計2チャンネルのCAN情報を同時系列のタイムスタンプを付加し、取得。
 - CAN転送速度は各チャンネル個別に設定可能
- **最新の6軸MEMSセンサ(3軸加速度+3軸ジャイロセンサ)搭載**
 - 車両の挙動を同時に計測可能
- **PCでのリアルタイムモニタリング&ロギング**
 - すべてのCANデータをPCにリアルタイム表示およびロギングが可能。
- **取得可能なOBDII情報の識別と物理量での確認**
 - CAN情報の中から、Standard PIDに対応するOBDII情報を識別可能。Standard PIDを指定することで、物理量に変換して確認可能。

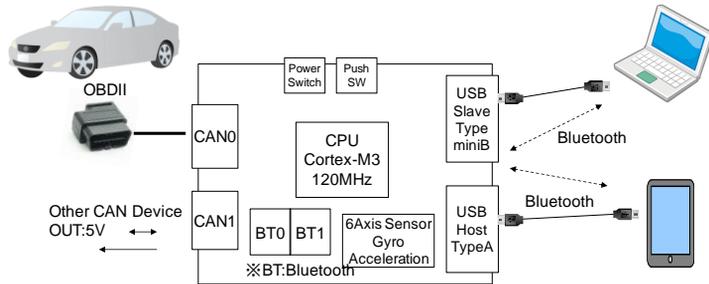


OBDII専用ケーブルにて車のOBDIIコネクタに接続

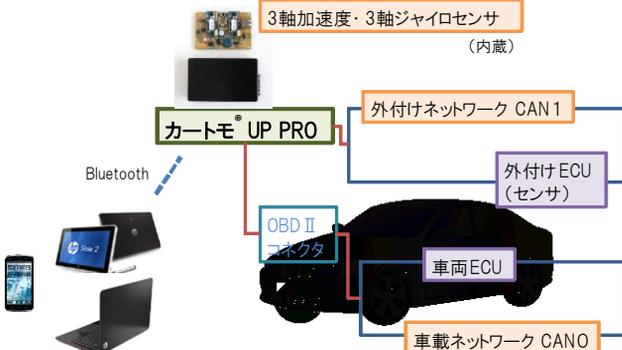


主な技術仕様

- 通信: CAN2ch, Bluetooth2.0+EDR2ch, USB2.0
- 無線通信距離: 最大約100m
- 3軸加速度センサ: ±2/4/8/16[G], 16[bit]
- 3軸ジャイロセンサ: ±250/500/1000/2000[deg/sec], 16[bit]
- 電源: 入力5~15V, 出力5Vor入力電圧、最大3A
- サイズ: 58×95×18mm
- 重量: 約70g



データ収集・分析システム(例)



データ収集・分析システム(例)

価格

- 価格: 9万円/アカデミック価格: 7万円
- 内容物
 - ・ 本体
 - ・ OBDII専用ケーブル
 - ・ USBケーブル
 - ・ CD(アプリケーション、マニュアル、コマンドリスト、コネクタ仕様)

オプション

- カートモ® Up Player : 実際の走行時に保存したログデータをテストベンチデータとして利用することができます。
価格: 3万円/アカデミック価格: 2万円